



うばどうっ子だより

教育目標：花と緑を愛し心豊かでたくましい子どもの育成

令和2年度学校だより
R3.3.1 第13号
校長 齋藤 学

ICT 教育が次年度から一層進みます

GIGA スクール構想により、次年度になりますが喜多方市内の小中学校の全児童生徒にタブレットが配当されます。それを授業で使用したり、家庭学習に取り入れたりという学習が展開されます。ICT 機器の取り扱い等については、ご家庭のご協力をいただくこともありますので、後日ご連絡いたします。

GIGA スクール構想【令和元年（2019 年）12 月 19 日 文部科学大臣メッセージ一部抜粋・要点記載】

- ・ Society 5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。
- ・ 1 人 1 台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」です。
- ・ 我が国の 150 年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端の ICT 教育を取り入れ、これまでの実践と ICT とのベストミックスを図っていくことで学校教育は劇的に変わります。
- ・ 多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものです。
- ・ 持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していきます。
- ・ ICT を適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくことも重要です。

なわとび集会が実施されました

2 月 18 日に全校集会として、なわとび集会が実施されました。朝のマラソンができなくなる冬期間は、体力づくりの一つとしてなわとびを行ってきました。例年は個人とびの記録をとっていましたが、今年はグループ対抗の長なわとびを行いました。3 分間に跳んだ回数を競いました。低学年の児童は初めはなわに入るタイミングがつかめず苦労していましたが、教室でも練習を重ねるなどすぐ上手になりました。集会当日もグループの仲間で励まし合ったり、他のグループの応援をしたりと充実した集会となりました。最後は 5・6 年生の跳び方を見せてもらいました。すごい回転スピードでみんなびっくりしていました。



前回掲載しましたマニュアルが一部改訂されましたので、お知らせいたします。

ケース 2 の下線部分が改訂された点です。

ケース 2

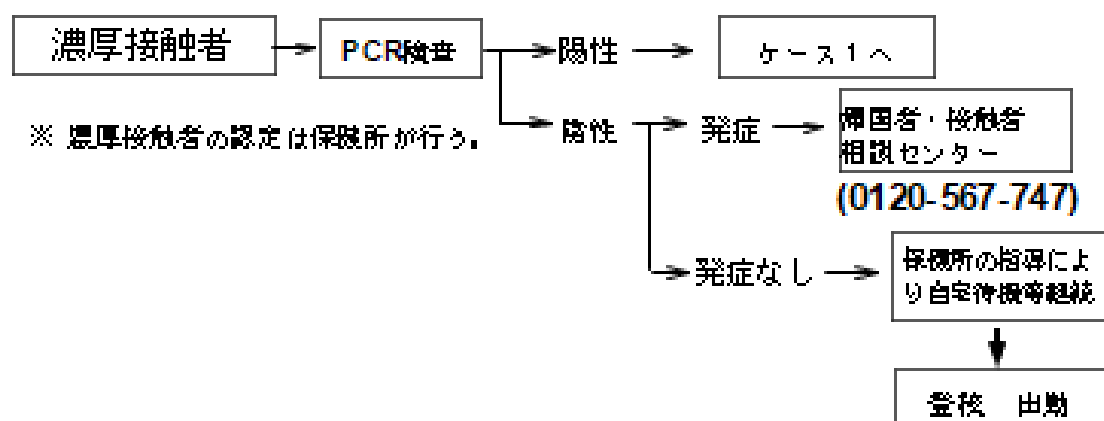
児童生徒、教職員、児童生徒の家族、教職員の家族
が濃厚接触者に認定された場合

○濃厚接触者が在籍する学校 ⇨ 学級単位
学年単位 } 休業等検討

○家族に濃厚接触者が
確認された学校 ⇨ 児童生徒 → 出席停止
教職員 → 在宅勤務 職専免等

○その他の学校 ⇨ 通常通り

○濃厚接触者の対応



○濃厚接触者の自宅待機の期間は、P C R 検査「陰性」
後 2 週間を原則とするが、具体的な期間等は、保健
所の指示に従うこと。

【児童生徒の家族、または教職員の家族が濃厚接触者の場合】

○家族が P C R 検査を受け、「陰性」の場合の児童生徒
の登校、または教職員の出勤の判断は、保健所の指
示に従うこと。